

関係者各位

福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課長
(福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局)

高齢者施設及び障がい者支援施設の職員を対象とした新型コロナウイルス感染症に係る検査事業の実施（継続）及び強化について

本県の保健医療介護行政の推進につきましては、平素より格別の御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、高齢者施設や障がい者支援施設等の入所者は、新型コロナウイルスに感染した場合、特に重症化リスクが高いため、県では、これらの方と接する可能性がある職員の皆様を幅広く対象としたPCR検査事業を実施してまいりました。

現在も高齢者施設等において集団感染が発生しており、あらためて施設内の感染対策の強化が求められております。

このため、以下のとおり令和4年6月まで本事業を継続して行うこととしました。

皆様におかれましては、引き続き、本事業を積極的に活用いただき、施設内感染対策の一層の強化に努めていただきますようお願いいたします。

記

- 1 対象施設 福岡県内（北九州市、福岡市、久留米市を除く）に所在する入所系の高齢者施設及び障がい者支援施設等
- 2 対象者 施設入所者と接する業務に従事する職員（入所者と接する可能性のある職員を幅広く対象とし、資格や職種、雇用形態等（正社員、非常勤、嘱託、パート、アルバイト、派遣職員等）は問わない。）
- 3 受付期間 令和4年4月1日（金）から令和4年6月30日（木）まで
- 4 受検可能回数

月	回数
4月	最大2回（1回増）
5月	1回
6月	1回

本県では、令和4年3月7日から4月7日までの1か月間を「感染再拡大防止対策期間」と位置づけ、感染再拡大の防止に取り組んでいます。このため、4月の検査を最大2回受検いただけるよう、受検回数を1回増とすることとしております。

- 5 実施方法等 県から委託を受けた「株式会社ナチュラルリ 東京 PCR 衛生検査所」が検査を実施
- 6 検査方法 唾液を用いたPCR検査
- 7 検査費用 無料
- 8 その他 申込方法等については、別紙をご参照ください。

Q1. 本事業を実施する目的は何ですか。

A1. 高齢者施設や障がい者支援施設等の入所者は、新型コロナウイルスに感染した場合、特に重症化リスクが高く、施設内感染対策の強化が重要となります。

このため、これらの方と接する可能性がある施設職員を幅広く対象として、一斉・定期的(※)に新型コロナウイルスのPCR検査を実施するものです。

〔※ 本事業は、検査時点において、施設の職員が感染しているかどうかを確認するために実施するものであり、可能な限りすべての職員が一斉に検査を受けるようにしてください。〕

Q2. 令和4年4月以降分は、どのように申し込みを行えばよいですか。

A2. お申込みの方法は、別紙「令和4年度高齢者施設及び障がい者施設の職員を対象とした新型コロナウイルス感染症に係る検査事業」を参照ください。

Q3. ワクチンを2回以上接種しているので、検査を受けなくても良いと考えていますが、どうですか。

A3. ワクチンを接種された方であっても、施設内感染防止のため本事業を積極的に活用いただきますようお願いいたします。

Q4. ワクチンを接種すれば、PCR検査で陽性になりますか。

A4. 新型コロナウイルスワクチンは、ウイルスのタンパク質をつくるもとなる情報の一部を注射することで、ウイルスに対する免疫を作り出しています。ウイルス自体を体内に投与してはみませんので、接種をすることでPCR検査が陽性になることはないこととされています。

Q5. 高齢者施設等を含めた福祉施設におけるクラスターの発生状況はどうですか。

A5. 令和3年4月からこれまでの間に、福祉関連施設で149件のクラスター事案が発生しています。

施設内感染対策の更なる徹底に加え、本事業を積極的に活用いただき、施設内へウイルスの侵入を防ぐ対策の強化に努めてください。

Q6. オミクロン株に感染している場合でも、この検査で「陽性」との結果が出ますか。

A6. 「陽性」との結果が出ます。